

# 期中会計監査実施要領

中間法人日本インダストリアルイメージング協会

## I 監査方針

期中における会計監査については、第2年度になるが、前回と同様に基金の現況、中間法人であることによって生ずる特殊な会計処理が会計基準に法り適切に会計処理がなされているか否かを中心に監査項目を設定することとした。

## II 内容

### 1 期中監査の基本的視点

- 1) 重要取引事故賠償責任
- 2) 財産管理状況
- 3) 内部牽制状況
- 4) 法令、定款違反

### 2 定常的監査項目

#### 1) 現金・預金

- ① 大口出金の領収書に問題はないか。
- ② 出金手続のルールに問題はないか。又は内部牽制は十分に働いているか。
- ③ 領収書用紙、小切手帳、印鑑の管理状況はどうか。
- ④ 証憑、小切手帳、書き損じ控等は適切に保管されているか。

#### 2) 固定資産

- ① 経営計画と有機的に連動しているか。
- ② 稟議書、見積書、契約書、請求書は整っているか。
- ③ 付保、除却、売却等の処理は適切に行なわれているか。
- ④ リース資産の管理並びに会計処理は適切に行なわれているか。

#### 3) 基金

- ① 基金の計上は適切に行なわれているか。
- ② 基金の保管は適切に行なわれているか。
- ③ 基金の会計処理は企業会計原則に法って適切に行なわれているか。

#### 4) 売上

- ① 売上の計上は定められた基準に従っているか。
- ② 与信限度の設定とその遵守の状況は如何になっているか。
- ③ 押込み販売、架空売上、簿外売上等はないか。
- ④ 異常な売上の増減がある場合その理由は何か。

#### 5) 非定常的監査

- ① 重大な法令違反又は違反の可能性ある事実を知った時その調査を行なう。
- ② 会社の財産又は損益に重大な影響を及ぼす事実を知った時その調査を行なう。
- ③ 保証債務、手形遡及義務、重大な係争事件に係わる損害賠償等の調査を行なう。
- ④ 取締役の競業取引、利益相反取引等の商規133条監査関連を調査する。

# 期中会計監査調書

中間法人日本インダストリアルイメージング協会

監 査 項 目	監 査 結 果
I 定常的監査項目	
1 現金・預金	
① 大口出金の領収書に問題はなかったか。	問題なし
② 内部牽制の視点から出金手続のルールに問題はないか。	同上
③ 領収書用紙、小切手帳、印鑑の管理状況に問題はないか。	同上
④ 証憑、小切手帳、書き損じ控等は適切に保管されているか。	同上
2 売掛金	
① 売掛金回収率は落ちていないか。	該当なし
② 売掛金の回収は契約条件通り行なわれているか。	同上
③ 売掛金の年齢調べで異常なものはないか。	同上
④ 売掛金の残高確認の不突合等で異常なものはないか。	同上
⑤ 売掛金残高の異常な増減はないか。	同上
3 固定資産	
① 経営計画と有機的に連動しているか。	連動している
② 稟議書、見積書、契約書、請求書は整っているか。	整っている
③ 付保、除却、売却等の処理は適切か。	適切
④ リース資産の管理並びに会計処理は適切か。	該当なし
4 基金	
① 基金の計上は適切に行なわれているか。	適切
② 基金の保管は適切に行なわれているか。	適切
③ 基金の会計処理は企業会計原則に法って適切に行なわれているか。	適切
5 売上	
① 売上の計上は定められた基準に従っているか。	基準通り
② 与信限度の設定とその遵守の状況は如何になっているか。	該当なし
③ 押込み販売、架空売上、簿外売上等はないか。	なし
④ 異常な売上の増減がある場合その理由は何か。	なし
II 非定常的監査項目	
1 重大な法令、定款違反はないか。	なし
2 会社の財産又は損益に重大な影響を及ぼす事実はないか。	なし

監 査 項 目	監 査 結 果
<p>3 保証債務、手形遡及義務、重大な係争事件に係わる損害賠償は発生していないか。</p> <p>4 理事の競業取引、利益相反取引等はないか。</p> <p>Ⅲ 特記事項</p> <p>1 特記することはあるか。</p> <p>なお、平成19年11月13日本社において、現金、通帳等を実査いたしました。その結果特段の問題はありませんでした。</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p>
<p>1 作成 平成19年11月20日</p> <p>監査意見 相当と認める</p> <p>会計幹事 岩 島 晋</p> <p>監 事 佐 藤 秀 夫</p> <p>監 事 渡 邊 眞</p>	